



心に響いた生徒と先生のハーモニー

開校72年 寄中学校最後の文化活動発表会 9/23(日)

第3回定例会の概要・決算質疑	2	一般質問	9
条例・指定管理者・補正予算	6	議員行政視察報告	13
常任委員会の審査概要	7	住みやすい町を目指して ³⁵	14
議案審議結果一覧	8		

9 会計の決算を認定

歳入 82億2701万円 歳出 76億4766万円
歳入歳出差引残額 5億7935万円

本会議4日目の9月7日、町長より平成29年度の一般会計及び8特別会計等の歳入歳出決算が一括上程され、代表監査委員の決算報告が行われました。一般会計の決算額は、歳入45億7797万円に対し、歳出42億7992万円で、差引額は2億9805万円となり、特別委員会に付託されました。一方、8特別会計等の決算総額は、歳入36億4904万円に対し、歳出33億6774万円で、差引額は2億8130万円となりました。

9月13日には、議員6名と議長（オブザーバー）による一般会計決算審査特別委員会を開催し、町長のあいさつ後、副町長・教育長以下、参事・課長から係長職の職員が出席して、詳細に審査を行いました。

ここでは、一般会計決算審査特別委員会の主な審査概要をご紹介します。

質 機構改革で安全防災担当室長と定住少子化担当室長を配置したが、現在は総務課長と政策推進課長がそれぞれ室長を兼務しているが、どのように考えているか。

答（副町長）
防災や定住は重要なセクションであるが、本年度いろいろな事情があり、やむを得ず課長職を置け

質 なくなった。係員を1名ずつ増やして対応している。今後、全体のバランスをみて対応していく。

質 ふるさと応援寄附金の返礼品の額が、松田町も3割を超えている報道があるが、どう対応していくか。

答（定住少子化担当室長）
ふるさと応援寄附金は1億円を超えた。返礼品

政策・方針

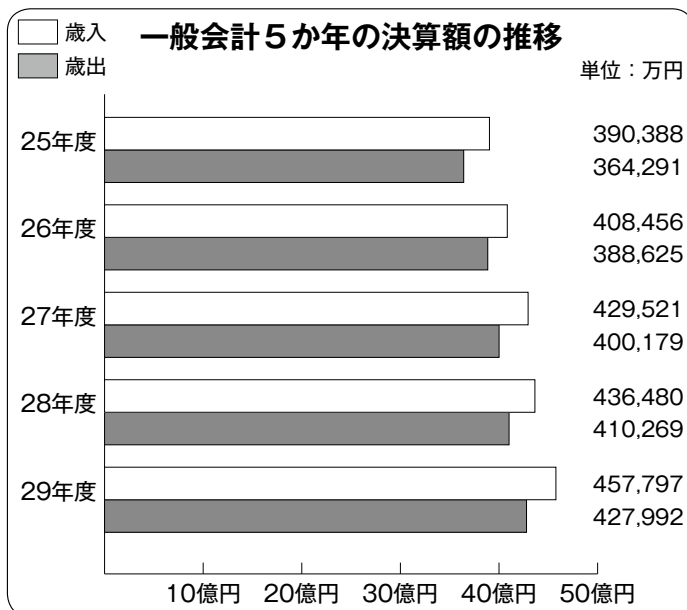
一般会計決算の主な質疑

平成30年 第3回定例会

会期 9月4日(火)～14日(金)

- 9/4 一般質問
利根川議員・井上議員 (P9)
田代議員・南雲議員 (P10)
石内議員・飯田議員 (P11)
- 9/5 一般質問
齋藤議員・鈴木議員 (P12)
大館議員 (P13)
- 9/6 議案審議
議案9件(条例・指定管理者・補正予算)
現地視察
- 9/7 議案審議等
認定9件(決算)
- 9/10 委員会審査
常任委員会3件(条例・指定管理者)
- 9/12 委員会審査
常任委員会2件(指定管理者)
- 9/13 委員会審査
特別委員会1件(決算)
- 9/14 議案審議等
委員会報告4件(条例・指定管理者、決算)、認定8件(決算)、報告2件、諸般報告等が行われ、閉会しました。

一般会計5か年の決算額の推移



質 人口減少や高齢化に伴って、税収や普通交付税の減少が見込まれるが、今後の財政計画や施策の考え方は、どうなっているか。

答（政策推進課）
総合計画の中に町に留まってもらう施策や子供を産み育てやすい環境を整える取り組み、民地や

は5品目が3割を超えているが、今後は国の方針に沿って見直していく。

質 人口減少や高齢化に伴って、税収や普通交付税の減少が見込まれるが、今後の財政計画や施策の考え方は、どうなっているか。

答（環境上下水道課）
昨年の生活排水処理審

町有財産を活用し住宅地の誘導等を進めていく。人口を確保し、町の魅力を継続的に創っていくかなければならない。地方創生交付金の活用、新たな財源や自主財源の確保を進めるため、財政シミュレーションを作っていく。

質 寄地区の生活排水処理事業計画は、どうなっているか。

議会で、寄地区は合併処理浄化槽で整備していく
 答申をいただいた。今後、

収支・財政

合併処理浄化槽の整備計画を作成する。

質 一般会計と国保特別会計で、収納対策員をそれぞれ1名、合計2名配置しているが、町税と国民健康保険税だけ徴収しているのか。徴収額はどれくらいか。

答 (税務課)
 町税と国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料を併せて徴収している。徴収額は、1500万円程になる。

質 東京では、民間に徴収を委託しているところがあるが、民間委託も考えてはどうか。

答 (税務課)

民間委託のコストやどこまでやるのかを研究している。他市町村とも研究しながら、より良い方法を考えている。

質 29年度決算における

実質公債費比率はどのくらいか。

答 (政策推進課)
 28年度より0.2ポイント下がり5.7%となっている。

質 今後の実質公債費比率の見込みはどのようになるか。

答 (政策推進課)
 学校建設を見込むと、

実質公債費比率とは、地方公共団体の借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

18%以上だと、新たな借金をするために国や都道府県の許可が必要。25%以上だと借金を制限されます。

最大11%ぐらいまで上がっている予定。これには駅周辺の整備は見込んでいないので、その都度提示していく。

質 女性活躍推進計画策定委託料1240万円の成果と、今後の進め方はどのようになるか。

答 (定住少子化担当室)

男女共同参画社会基本法等に基づき男女共同参画プラン、女性活躍総合戦略の2つの計画を策定した。町民の皆さまにも意識を持っていただくため、既にセミナーや勉強会を実施している。



計画書に基づき事業展開される

質 都市整備事業費の不用額が相当あるが、その



南口整備は今後も予定されている

答 (まちづくり課)
 理由を説明されたい。

南口駅前広場整備工事に伴う用地買収費及び建物補償が、契約に至らなかったことで、不用額に計上した。

質 南口駅前広場整備事業の進捗状況は、どのようになっているか。

答 (まちづくり課)

全体事業費は12億1千万円程を予定しており、29年度までに6億1千万円程を支出している。残りの事業は、用地取得・建物の補償、駅前の広場の歩道、エレベーター等の工事がある。

平成29年度 会計別決算の状況

9会計の歳入決算額 ⇒ 82億2701万円 前年度比 +3.8%

※ 1万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。



- | | | | |
|---------------|-----------|--------------|-----------|
| ①国民健康保険事業特別会計 | 17億2947万円 | ②介護保険事業特別会計 | 10億5194万円 |
| ③その他6会計の合計 | 8億6764万円 | | |
| ・下水道事業特別会計 | 3億4624万円 | ・上水道事業会計 | 2億2133万円 |
| ・後期高齢者医療特別会計 | 1億7961万円 | ・国保診療所事業特別会計 | 7464万円 |
| ・寄簡易水道事業特別会計 | 3912万円 | ・用地取得特別会計 | 670万円 |

自主財源 … 市町村が独自に調達できる財源 ⇒ 町税、手数料、使用料、諸収入、分担金 他
依存財源 … 国や県から交付される財源や借金 ⇒ 地方交付税、国県支出金、町債 他

教育関係



特別委員会での質疑応答の状況

質 小学校建設は、最低でも25億円かかると説明があったが、仮に30億円になった場合の財源内訳はどのようになるか。

答 (政策推進課)
 国庫補助の対象事業費が変わらないと仮定すると国庫補助金5億円、起債20億2500万円、一般財源4億7500万円の見込みとなる。これは別に、県が独自に貸してくれる制度もあるので、平準化という観点では活用も考えている。金額が

一般会計決算審査特別委員会報告書(抜粋)

審査の内容

- 歳入については一括、歳出については各款を単位として、適切な執行がされたかを中心に審査を行いました。
- なお、今後は次のことについて、留意し執行されたい。
- (1) ふるさと応援寄附金については、制度に基づき適切に執行し、財源確保に努められたい。
 - (2) 基金の積み立ては、事業計画と合わせ計画的に積み立てをされたい。
 - (3) 住宅整備事業に伴い、今後借地をしている町営住宅の敷地を返還することになるが、地権者の方と協議して進められたい。
 - (4) 大型事業が今後予定されているため、公債費比率等に留意して、計画的な財政運営をされたい。

明確になった段階で再度説明をしていく。

質 小学校建設費が30億円になった場合、教育施設整備基金をどのくらいまでの積立を推定しているか。

答 (政策推進課)
 建設費が25億円の場合、3億5000万円を目標としている。現在、教育課で再度学校建設の事業費総額を算定中であるため、結論が出次第、見直しをしていく。



建て替えが予定される松田小学校



松田中学校に設置されたエアコン

質 松田中学校と寄小学校にエアコンが設置されたが、松田小学校の設置はどのようになっているか。

答 (教育課)
 松田小学校の状況を把握し検討している。国に平成31年度に設置する予

定で申請している。

質 町民文化センター大ホールの照明や音響設備の操作を利用者が直接できるようにならないか。

答 (教育課)
 音響や照明設備は集中管理している。1100人規模のホールでは難しい状況ですが、引き続き委託業者と可能か検討していく。

施設関係

質 籠場住宅の整備により、借地の町営住宅入居者の移転で、借地の返却となるが、地権者との調整はされているか。

答 (副町長・総務課)
 契約更新時には、籠場住宅の建設が決まっていなかったため、いつ返却すると具体的には交渉をしていない。入居者の移転と並行して進めていく。長年お世話になっているので、地権者の方の意向も踏まえ、相談に乗り、協力していきたい。

質 最近、消火栓整備工事額が少なくなっているが、消火栓の充足率はどうだろうか。

答 (安全防災対策室)

松田地区の消火栓の数は196か所、寄地区が76か所設置している。総務省で定めている消防水利の設置基準は、松田地区が半径100m、寄地区が半径120mとなっている。今後も自治会の要望を聞きながら整備していく。



左：地上式消火栓、右：地下式消火栓



新松田駅前に設置されたお休み処「つむGO」

質 新松田駅前にバス等の待合所ができて便利になったが、寄りのバスの最終便まで利用できるよう開けてもらうことはできないか。

答 (政策推進課・観光経済課) バスの事業者に待合所の開閉をしてもらっている。利用時間は、8時から18時で、これ以降、夜開けると経費もかかるので、どのような対応が取れるか調査研究をしている。

質 ドッグラン使用料の予算額が1千259万円程計上されているが、収入済額が867万円程で、予算に対して68%となった要因は何か。

答 (観光経済課) 指定管理者制度導入で平成30年1月から3月分の収入は、指定管理者の収入になったことや、売り上げが期待できる10月に、2度の台風が土曜日と日曜日を直撃したこともあり、減収となった。

質 寄ヒールングヴィレ

質 障害者雇用促進法で定められた障がい者の方を採用しているか。

答 (総務課) 障がい者の方を3名雇用している。カウントとしては、5名分となりま

質 ラスパイレス指数はどのくらいか。県内で下から何番目になっているか。

答 (総務課) 29年度のラスパイレス指数は97.6です。県内で下から7番目になって

質 ツジ事業のドッグランや七つ星カフェの運営状況はどうなっているか。

答 (観光経済課) 指定管理者が本年1月から始まった。それまでの4月から12月のドッグランの売上は、前年度と比べると232万円増えている。七つ星カフェは、今年度の4か月分で25万円程のプラスの収支となっており、順調にきている。



平成30年1月より指定管理者が運営

その他の

質 子育て支援センター

質 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給料月額を100とした場合の、地方公務員一般行政職の給与水準を示した指数です。高い指数の自治体には、特別交付税や起債の制限が行われます。平成29年4月1日現在の、県内の市町村の平均は、100.7、最高102.4、最低91.3となっています。

質 障がい者雇用促進法で定められた障がい者の方を採用しているか。

答 (総務課) 障がい者の方を3名雇用している。カウントとしては、5名分となりま

質 ラスパイレス指数はどのくらいか。県内で下から何番目になっているか。

答 (総務課) 29年度のラスパイレス指数は97.6です。県内で下から7番目になって

質 障がい者雇用促進法で定められた障がい者の方を採用しているか。

答 (総務課) 障がい者の方を3名雇用している。カウントとしては、5名分となりま

質 ラスパイレス指数はどのくらいか。県内で下から何番目になっているか。

答 (総務課) 29年度のラスパイレス指数は97.6です。県内で下から7番目になって

質 ツジ事業のドッグランや七つ星カフェの運営状況はどうなっているか。

答 (観光経済課) 指定管理者が本年1月から始まった。それまでの4月から12月のドッグランの売上は、前年度と比べると232万円増えている。七つ星カフェは、今年度の4か月分で25万円程のプラスの収支となっており、順調にきている。



町の子育て支援センターとファミリーサポートセンターは併設されている

12月議会(5日・午前9時開会)を傍聴してみませんか!

松田町議会は、3月・6月・9月・12月の年4回定例会が開催されます。また、必要に応じて臨時会が開催されます。議会での審議を誰でも傍聴できますので、ぜひ、議場にお越しください。

詳細は、議会事務局へ。TEL84-1335 (直通)

条例・指定管理者・補正予算

▼松田町古民家の設置及び管理に関する条例

豊かな地域資源を活用し、歴史・自然・農業体験等の実施や地域情報の発信等を通じて、地域の振興及び地域経済の活性化に寄与することを目的に条例を制定するものです。
(詳細は7ページ参照)

▼松田町情報公開条例の一部を改正する条例

町政に対する町民参加を促進するとともに、町

政における透明性・公平性を向上させるため、会議の公開を加える等の改正をするものです。

▼松田町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令等の一部を改正する政令の施行により、本条例に引用する条項が変更となったため、改正するものです。

▼松田町公共賃貸住宅の指定管理者の指定について

まただ住宅パートナーズ(株)を、平成30年11月1日から平成60年3月31日までの29年5か月間、松田町公共賃貸住宅(籠場住宅)の指定管理者に指定するものです。
(詳細は7ページ参照)

まただ住宅パートナーズ(株)を、平成30年11月1日から平成60年3月31日までの29年5か月間、松田町公共賃貸住宅(籠場住宅)の指定管理者に指定するものです。
(詳細は7ページ参照)

▼松田町地域優良賃貸住宅の指定管理者の指定について

まただ住宅パートナーズ(株)を、平成31年3月1日から平成60年3月31日までの29年1か月間、松田町地域優良賃貸住宅(町屋住宅)の指定管理者に指定するものです。
(詳細は7ページ参照)

▼平成30年度松田町一般会計補正予算(第4号)

一般会計補正予算(第4号)は、歳入歳出それぞれ4086万3千円を追加し、予算総額を5億599万7千円とするものです。



屋根等を改修する湯の沢児童センター

主な内容は、歳入は普通交付税、前年度繰越金

歳出は町有地整備工事、後期高齢者医療広域連合市町村定率負担金過年度分精算金、スクールバス購入、湯の沢児童センター改修工事などの補正をするものです。

▼平成30年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)は、歳入歳出それぞれ6628万8千円を追加し、予算総額を14億9542

万8千円とするものです。

主な内容は、歳入は前年度繰越金、歳出ではシステム改修負担金、国庫支出金返納金、療養給付費交付金償還金などを補正するものです。

▼平成30年度松田町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

介護保険事業特別会計補正予算(第1号)は、歳入歳出それぞれ5140万4千円を追加し、予算総額を11億994万5千円とするものです。
主な内容は、歳入は一

般会計繰入金、前年度繰越金、歳出はシステム改修費負担金、保険給付費の財源補正、介護給付費負担金過年度分返還金などを補正するものです。

▼平成30年度松田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)は、歳入歳出それぞれ557万3千円を追加し、予算総額を1億7880万円とするものです。
主な内容は、歳入は前年度繰越金、高齢者医療制度円滑運営事業費補助金、歳出は保険料納付金過年度分精算金などの補正をするものです。

審議の結果

以上、条例3件、指定管理2件、補正予算4件、決算の認定9件について審議し、原案のとおり18件が可決(認定)されました。採決の結果は、8ページをご覧ください。



籠場住宅が完成し11月より入居が始まる

産業厚生常任委員会で審査した議案



条例化され活用される萱沼地区の古民家

▼議案第42号 松田町古民家の設置及び管理に関する条例

この条例は、9月6日に上程され、産業厚生常任委員会に付託をし、9月10日に委員会を開催し審査をしました。委員会では、使用料の設定、農業体験の想定、宿泊や休憩の考え方等を

松田町古民家の設置及び管理に関する条例 産業厚生常任委員会報告書(抜粋)

審査の内容

観光経済課長及び担当職員出席のもと、使用料の設定根拠、施設の指定管理者による稼働シミュレーション、今後のスケジュール等を詳細に審査しました。

審査の結果、農業体験等を取り入れた宿泊施設であるため、利用料金の設定、農業体験の想定、宿泊や休憩の考え方等を質疑し、豊かな地域資源を活用し、地域の振興及び地域経済の活性化に寄与するため、必要な条例と判断しました。なお、次の項目について、強く申し入れをして原案のとおり賛成することとしました。

- (1) 既納の利用料金の還付については、指定管理者が還付する条件を明確にし周知されたい。
- (2) この施設は、指定管理が前提となっているため、町は食品衛生面での配慮をされたい。

質疑し、豊かな地域資源を活用し、地域の振興及び地域経済の活性化に寄与するため、必要な条例と判断し、賛成全員で原

総務文教常任委員会で審査した議案

▼議案第45号 松田町公共賃貸住宅の指定管理者の指定について

▼議案第46号 松田町地域優良賃貸住宅の指定管理者の指定について

この2つの議案は、9月6日に上程され、総務文教常任委員会に付託をし、9月10日と12日に委員会を開催し審査をしました。

案のとおり可決すべきものと決定し、上記のとおり報告書を14日の本会議で報告し可決されました。

委員会では、指定管理者の候補者より提出された施設の事業計画書及び収支計画書等を審査しました。

議案第45号と議案第46号は、松田町住宅整備事業の事業契約者のまつだ住宅パートナーズ株式会社 代表取締役 西山和成(松田町松田庶子417番地イ号)を、指定



完成した公共賃貸住宅(籠場住宅)の室内

管理者に指定することに、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定し、下記のとおり報告書を14日の本会議で報告し可決されました。

松田町地域優良賃貸住宅の指定管理者の指定について

総務文教常任委員会報告書(抜粋)

審査の内容

総務課長、政策推進課長及び担当職員出席のもと、町屋住宅の維持管理費収支計画について詳細に検討しました。

審査の結果、この指定管理者の指定は松田町住宅整備事業の事業契約(平成29年10月18日締結)に基づくものであり、改修計画等を定期的実施し、居住者の良好な生活環境を保持し、長期に渡る入居率90パーセント以上の当初目標を堅持する計画となっていることから、原案のとおり賛成することとしました。

松田町公共賃貸住宅の指定管理者の指定について

総務文教常任委員会報告書(抜粋)

審査の内容

総務課長、政策推進課長及び担当職員出席のもと、籠場住宅の維持管理費収支計画について慎重に審査しました。具体的には、町が借地している既存町営住宅入居者が籠場住宅に移転した場合の家賃低廉化に伴う減額分と維持管理経費について詳細に検討しました。

審査の結果、この指定管理者の指定は松田町住宅整備事業の事業契約(平成29年10月18日締結)に基づくものであり、その際に特別委員会で審査した内容を概ね遵守した維持管理経費となっていることから、原案のとおり賛成することとしました。

議案審議結果一覧

第3回定例会(9月議会)

○…賛成 ●…反対 可…可決 否…否決 認…認定 欠…欠席

議案等番号	議員名(議席順)		審議結果	平野	田代	井上	南雲	飯田	利根	小澤	石内	齋藤	鈴木	大館
				由里子	実	栄一	まさ子	一	川茂	啓司	浩	永	眞徳	秀孝
議案42	松田町古民家の設置及び管理に関する条例 (産業厚生常任委員会報告)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	松田町情報公開条例の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	松田町介護保険条例の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	松田町公共賃貸住宅の指定管理者の指定について (総務文教常任委員会報告)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	松田町地域優良賃貸住宅の指定管理者の指定について (総務文教常任委員会報告)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	平成30年度松田町一般会計補正予算(第4号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	平成30年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	平成30年度松田町介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	平成30年度松田町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定 1	平成29年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について (一般会計決算審査特別委員会報告)		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	平成29年度松田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算 の認定について		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	平成29年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳 出決算の認定について		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	平成29年度松田町上水道事業会計利益の処 分及び決算の認定について	利益の処分	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		決算の認定	認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	平成29年度松田町寄簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の 認定について		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	平成29年度松田町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 について		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	平成29年度松田町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認 定について		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	平成29年度松田町用地取得特別会計歳入歳出決算の認定に ついて		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	平成29年度松田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の 認定について		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 中野博議長は、採決には加わらない。

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

町職員の他市職員への流出について



質問者
利根川 茂 議員

今年も町広報6月号により、町一般行政職等の募集がされ、9月には第2次試験も終わり合否が決定されると思います。松田町の未来を町民とともに創っていく有為な人材を採用されることを望みます。

さて、職業選択の自由は憲法で保障されておりますが、近年本町にかかわらず採用予定の応募年齢が40歳未満とする自治体が多くなっているため、20代から30代の職員が他市職員にトラバースする人が多く見受けられます。ある町では、その年齢の男子職員が極端に少なくなつたと言われています。

(1) 本町の実態とその原因は何ですか。

(2) 県下の町村の実態は、その対策を考えていますか。

採用時から注意を払います

回答 (町長)



(1) 近年10年間の状況を申し上げますと、毎年2名程度の職員が様々な理由により、退職をしています。理由は、個人・家族の都合で退職したものが10名、自身のスキルアップを目指して退職されたものが6名、その他の理由が6名です。職員養成を行っている途中での退職は、全体の戦力を弱

第6次総合計画の基本理念と施策の大綱について



質問者
井上 栄一 議員

めしてしまうことになる。このようなことが無いように、採用時から注意を払っている。

いる。退職者を出さないためにも、公務員としての基礎研修や各課内での職員間によるフォローをすること、職員に安心・自信をつけてもらうよう対策を図っている。

2026年(平成38年)を目標年次とした「松田町第6次総合計画」の策定が進んでいるところだと思えます。

計画策定の基本だと思えます。そこで、「基本理念」及び「施策の大綱」の考え方につきまして、町長の考えをお聞かせください。

過日、「第6次総合計画の策定について」、「総合計画策定の考え方」及び「総合計画の骨子案」などの説明がなされました。計画策定中ですので、具体的な内容等については発表できないと思います。ただ、第6次総合計画の基本理念及び施策の大綱についての考え方は

総合計画は幸福度の向上を

回答 (町長)



第6次総合計画では、

松田町第6次総合計画とは、総合的・効率的な行財政の運営を図るための町づくりの指針となるもので、現在、平成31年度から38年度までの8年間の計画を策定しています。

「縁と清流、町民の心と命の源、全ての命を未来につなぎ育む松田町」を基本理念とする。新総合計画の策定では、「町民や地域と連携した協働のまちづくり」、「町民の安定的な暮らし」、「文化の継承・事業承継町民一人ひとりのまちづくり意識」を戦略課題とし、SDGsの考えを取り入れ、シビックプライド、「郷土愛」を持つ「人づくり」を進めて行くことを目標とする。「全ての命を未来につなぎ育む」ため、町の地域資源を積極的に活かし、「地産外商」による地域経済循環で、町財政の健全化を図り、住民サービスの強化により幸福度の向上を促進することを第6次総合計画の将来像と考えている。

新たな総合計画における「土地利用と財源確保」の取り組みについて



質問者
田代 実 議員

財源の根幹をなす町税の平成29年度決算額は、16億3926万円、10年前と比較し約1億7400万円の減です。一方、財源不足を補填する国からの地方交付税は、8億7428万円、約3億100万円の増となっております。

しかし、今後の地方交付税は減額になることが想定されますので、自主財源の確保は喫緊の課題であり、新たな総合計画における「土地利用と財源確保」のための重点施策が必要です。

そこで、次の3点について町長の考えをお伺いします。

(1) 生産年齢人口を増やすためのハード事業

- (2) 低(未)利用地を高度利用することによる財源確保
- (3) 新松田駅南口〜仲町屋・沢尻町営住宅〜川音川右岸の土手〜文久橋までの道路計画

民活による住宅整備のため、町道等の環境整備に取り組む

回答 (町長)



- (1) 官民連携手法により、子育て世帯向け地域優良賃貸住宅の整備を進める
- 一方、住宅等の開発を誘導するための町道改良事業や、行き止まり道路・



川音川右岸の堤防(町道4号線)

狭あい道路の解消などに取り組む。また、将来を担う子どもたちのために、学校建設事業を計画的に推進する。

本町の総合計画における文化行政と防災対策について



質問者
南雲 まさ子 議員

- (1) 現行の第5次総合計画(平成27年〜平成30年)の施策には、「郷土文化を活用した教育の推進」が掲げられています。

- (2) 一定規模の高度利用が見込まれる用地は、民間活力の導入による住宅等の整備を促進するため周辺の環境整備を進める。町有地の特性を考慮し、その利活用にも計画的に取り組む。
- (3) 新松田南口駅前広場整備事業で、周辺道路の将来計画が必要な路線となっており、隣接する土地は第一種中高層住居専用地域のため、中高層住宅等の整備計画が必要と考える。

国は、昨年6月23日にこれまで文化芸術振興基本法の一部を改正し、法律の名称を文化芸術基本法といたしました。この

- 改正を総合計画の中で生かすために、文化芸術の固有の価値を広がりのある形として、教育の中に取り入れることが重要だと思いますが、考えをお伺いします。
- (2) 熊本地震では、支援の受け入れ態勢が不十分であったり、西日本豪雨ではハザードマップの活用方法の周知が不徹底など、いくつかの問題点が浮き彫りになりました。そこで次期総合計画において、新たにどのような施策を考えているのかお伺いします。

次期総合計画で積極的に取り組む

回答 (教育長・町長)



- (1) 子どもたちが本物の文化・芸術を見る、体験することは、子どもたち

にとつて豊かな情操を育てる上で、とても重要な事と認識している。子どもたちから地域の伝統文化に積極的に関わり、地域に伝わる貴重な無形伝統芸能の保存・伝承に取り組んでいる。

毎年学校と協議の上、内容について検討し、本物の良さに触れる芸術鑑賞を実施していく。

(2) 次期総合計画には、避難所運営マニュアルや職員の役割、町民・自治会の役割を明確化した個々のマニュアルも見直しをする。

また、要支援者及びボランティア対応マニュアルを総合計画に位置付け整備して、町民の安心安全に繋げていく。



大名行列の伝承教室(まつだ観光まつり)

交流人口、そして「活動人口」の増加を！



質問者
石内 浩 議員

当町における交流人口増加策は、これまでにない幅広い取り組みが伺えますが、高齢化・人口減少が避けて通れない中、この町に必要なものは、交流人口とともに「活動人口」をいかに増やせるかだと思います。

そこで、次の点についてお伺いします。

(1) 新まちづくりアクションプログラムは平成30年度、まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略は平成31年度が最終目標年度となっており、現在の評価をお示しく下さい。

(2) 「活動人口」の増加は、地域づくりや住民参加の実質的拡大が不可欠

ですが、住民参加の新しい取り組みについてお伺いします。

A

「活動人口」増加で魅力ある町づくり

回答（町長）

(1) 当町の交流人口の目標値設定は、予測観光客数を平成30年に86万人としている。平成29年の実績は約73万人であった。交流人口増加策としては、特に寄地区の魅力を生かした農山村に泊まる事業や東京オリンピックをチャンスにするなどの

施策に取り組んでいきたい。

(2) 「活動人口」は、地域づくりに積極的に参加する人の数と理解している。以前から地域活動に対して、財政支援を続けているが、地域の中で、どこに住んでいるのか、

子どもがいてもこの子か分からないといったことを耳にする。自治会との協働で、これらの方の活躍できる場や子ども達との交流できる場づくりの推進を図り、町の活性化につなげ、魅力ある町にしていきたい。

有害獣防止柵設置材料費補助金の上限の引き上げを



質問者
飯田 一 議員

今年も鳥獣による農作物の被害に悩まされ、収穫の秋を迎えさらに大きな被害を被ることが予想されます。

そこで質問をいたします。

(1) 農作物の被害は増え続け、農家の生産意欲は減退し、耕作放棄地も増加しています。町内での状況はいかがでしょうか。

(2) 空き家になった住宅

が放置され、雑木が生い茂り、ハチや動物のすみかとなり、景観の悪化、防犯、防災の面からも問題があり、管理の不十分な空き家の所有者に対する適切な措置はとられていますか。

(3) 現在、町の有害獣防止柵設置材料費補助金は10a以上、1回の申請で20万円以下となっています。大きく囲う場合、補

A

内容を検証し今後の方向性を示す

回答（町長）

助金の範囲内では無理になってしまいます。上限の引き上げはできないものでしょうか。

営農意欲の減退も耕作放棄・離農してしまう大きな要因の一つになっている。

(2) 環境への悪影響や危険の切迫性など総合的に判断し、安全・安心なまちづくりを進めていくため、先行している自治体の例を参考に具体の検討を進めていく。

(1) 耕作放棄地の現状は2015年調査で43ha、2010年に比べ5ha増加し、年々増加傾向にあり、要因としては高齢化と世代交代による後継者不足、販売価格の低迷、さらに有害獣被害による

(3) 大きく囲う場合、隣接する農地の方との協力条件によってはJAの補助制度も併せて活用することも可能である。要綱の内容については、利用実績や効果などの検証と合わせ荒廃地増加の対策の一助となるよう、今後の方向性を示していきたい。



水田の周りを防止柵で囲み有害獣の侵入を防いでいる

町民の安心安全対策及びその対応は



質問者
齋藤 永 議員

日々起こりうる自然災害や犯罪。テレビでは予想をはるかに超えた雨量による、がけ崩れや土石流による町の破壊。事が起きてからなすすべもない状況もありますが、減災対策や防犯対策により、少しでも町民の命と財産を守ることができるのではないのでしょうか。

この事を踏まえ以下のことをお聞きます。

- (1) 今年度の台風や大雨での被害状況や危険箇所の対応策は？
- (2) 交通ルールを無視した危険行為や犯罪が尊い命を奪うケースが増えています。町中に監視の目があると云うことが抑止になると考えられます。高額な防犯カメラ以外に

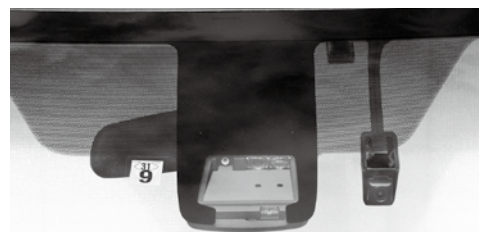
普段走行している町民の車にドライブレコーダーを付けてその設置費を補助することはいかがですか？

A 早めの情報発信に努める

回答（町長）



(1) 初めて避難所を開設した。職員の経験や知識も深められ、今後の行動マニュアルの作成に大いに役立てることができ、避難勧告等の情報発信は、深夜に及ぶことも想定されるが、災害予報等を収



ドライブレコーダーは犯罪抑止効果も

集し、昼間、早めに非難を促すよう努めていく。新たに県から洪水ハザー

ドマップが示されたので、町民に周知する。

(2) ドライブレコーダーの導入は、交通安全の意識の高揚、犯罪抑止効果が見込まれる。記録データを警察に提供する仕組み、個人情報や町民へ説明が必要であるため、先進町から情報を得て、導入に向け検討をしたい。

高齢者の生きがい・健康づくり対策について



質問者
鈴木 眞徳 議員

敬老祝金の見直しが行われましたが、そこで捻出されるであろう財源の活用なども踏まえて、新たな高齢者の生きがい・健康づくり対策について、町の今後の方針を伺います。

(1) 高齢者が増えている中で、松田における『シニアクラブ』の会員数や

活動状況は、どのようになっていますか。

(2) 娯楽が多様化している現代においては、特定の活動に絞ることは難しいと思われませんが、シニアクラブにおける今後の活動を後押しするために、国が主催する『全国健康福祉祭』（通称…ねりんピック）の種目な

どを参考に、パークゴルフ場の18ホール化や、健康マージャンなど新しい事業の環境整備など、団体と連携しながら、町も検討できませんか。

A パークゴルフ場の18ホール化を検討

回答（町長）



敬老祝金の見直しについては、高齢者のために使えるようにといった意見をいただいている。

(1) シニアクラブ松田の平成30年度の会員数は、

地域クラブ3団体で170人、本部直轄の個人会員が60人で、合計230人となっている。パークゴルフ、カーレット、カラオケ、合唱、映画鑑賞の五種目が月例で行われ、ハイキングや旅行なども実施している。

(2) パークゴルフ場の18ホール化は、補助事業要件に常設の散水施設の整備があり、河川区域内では、水道施設の縦断占用ができないことから、他の補助制度の有無について、調査をしている。町としても引き続き、国や県などの補助事業を調査して検討していく。シニアクラブ松田のニーズに合わせ支援を行いたい。



パークゴルフで健康づくり（川音川パークゴルフ場）

平成29年度決算から考えられる 今後の町の方向性は？



質問者
大館 秀孝 議員

今後、松田町の将来について、方向性をそれぞれの地区ごとの課題点をどのようにとらえ、解決策を考えられるのか、次の2点についてお伺いいたします。

- (1) 現在全国的に社会問題化している有害鳥獣対策について
- (2) 河川敷の安全面、活性化等に向けた利活用方

A



河川内の整備後に利活用を考えたい

回答(町長)



9/11 中津川右岸に奇小学校児童が花菖蒲を植栽

(1) 29年度の有害鳥獣防除対策事業の主な取り組みは、有害獣駆除報奨金などの購入、駆除委託、防護柵巡視委託、防止柵設置材料補助及び、新規事業として地方創生推進交付金を活用したハンター育成事業等を行い、総額約469万円の支出をした。ハンター育成事業は、若手や女性等、新たにハンターを志す方を掘り起こして、高齢化や担い手不足の対策を目的に実施した。

30年度は、より実践的な体験ができるよう展開している。

(2) 町内には、中津川、虫沢川、川音川、酒匂川の4河川がある。まずは、河川内の樹木の伐採や流路の確保などを目的に、神奈川県に働きかけての河川内整備が先決であると考え。次のステップとして、地域の活性化に資するために未利用空間の利活用に向け、計画したいと考えている。

..... 一般質問は、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。.....

議員行政視察報告

平成30年10月9日(火)から11日(木)に、議員4名が山形県小国町、岩手県西和賀町の行政視察をしたので、その概要を報告します。また、岩手県陸前高田市の復興状況を現地見学しました。

視察議員 大館秀孝・齋藤永・小澤啓司・飯田一

中華まん等が商品化され、「美森マルシェ」や道の駅「白い森おぐに」等に直売所を設置、また、ネットショップも立ち上げ、流通網の整備拡充を図っています。荒廃農地を活用したワラビ畑は、鳥獣被害がなく当町でもできると感じました。

木質バイオマス温水利用
間伐材・林地残材などの未利用資源の活用や森林の保全、温室効果ガスの削減を目指して、木質チップボイラーへの転換を図っています。役場庁舎や小学校の暖房・給湯通路の融雪などに使用され、雪国ならではの必要経費であり、重油使用量は半減し大きな効果が出ています。木質ペレットストーブや新ストーブの普及拡大も図っています。(記 小澤 啓司)

観光客の受入促進環境整備に要する経費の補助をしています。これまで、Wi-Fi等公衆無線の整備、トイレの環境整備、施設のパリアフリー化、多言語での表示やホームページ・パンフレット・観光広告整備等を行い、本年度は新たに電子決済機器整備等を対象に機器の整備代金や決済手数料の補助を始めています。見習うべきことがたくさんあり、当町でも実践できると感じました。(記 齋藤 永)



西和賀町副町長等の説明を受けました



白い森ブランド推進計画
小国町は、面積は738km²で松田町の約19倍の広さであり、95%がブナ林に覆われた山地で、人口減少と高齢化が急速に進行しています。雪解けと共に発芽する大量の山菜を活用した町おこし事業です。特産品として、山菜の水煮・醤油づけ、たかきび・山菜

おもてなし環境整備事業

西和賀町は、総面積390・78km²で、約8



住みやすい町を目指して... 35

寄地区の振興と活動について

寄地区振興協議会会長 高橋 始さん(大寺宮地在住)

昭和33年に設立

寄地区振興協議会(以下「本会」)は、昭和33年(1958年)に発足し、本年で61年目を迎えました。その間、先人のたゆまざる努力の積み重ねにより、「寄」の地域振興が図られ、緑と清流の景観に恵まれた心安らぐ深山の里として発展してまいりました。

本会の組織は本部役員その他、幹事には7地区の正副自治会長、本会の下部組織の青壮年部役員が選任され、地域一体となった組織が構成されています。



毎年5月5日に開催される若葉まつり(写真は、中津川での川魚のつかみ取り)

寄地区の振興を推進

本会の目的は、寄地区の振興を推進し、地区の発展と住民の福利増進を図ることにあります。会員は、寄に住所を有する自治会会員550戸及び事業所を有する企業15社も特別会員として協働の地域づくりにご協力いただいています。

主な活動としては、①住民の要望等を集約し、関係機関への働きかけ ②行政運営に協力し住みやすい町づくりを目指す ③専門部会・部の活動強化を図る ④住民の文化的活動の啓蒙 ⑤環境美化運動の推進 ⑥各団体との連携等々ですが、設立当初から寄の将来を担う子供たちの健全な育成と成長を願い、PTAや子供

会活動に対し支援しています。

このような活動方針に則り、自主事業では、地区住民が一体となった“納涼盆踊り大会”、地区の振興に関する“行政との懇談会”、“環境美化活動”を実施している他、各団体と連携し若葉まつりや中津川河川の草刈り作業、青壮年部としては本部事業への参画や、自主事業としての美化活動、ソフトボール大会などを通じ地域住民との親睦・健康増進を図っています。

本年度の活動

本年度の活動は、本部自主事業の他、来年3月の「寄中学校閉校記念事業」への協力です。寄中学校は、戦後の混乱期の昭和22年(1947年)5月に寄村・地域関係者の並々ならぬご努力により私立中学校として建設開校され、本年で72年目を迎えました。平成31年4月の町内中学校の統合により、同年3月をもって閉校となります。

歴代の教職員、町・地域の皆様のご苦勞に改めて感謝申し上げ、地域一体となった心に残る記念事業となるよう本会員一同協力して参りたいと存じます。

これからも本会の運営につきまして、ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下記までご連絡ください。

皆さんの傍聴をお待ちしております! 第4回定例会は12月5日(水)開会

委員	委員	委員	委員	副委員長	議長	議会広報広聴常任委員会
大舘 秀孝	齋藤 永	小澤 啓司	中野 博	飯田 一	平野由里子	

(齋藤)

今後も皆様方のご意見をいただきながら、町政発展に努力してまいりますので、よろしく申し上げます。

落ち葉が風に舞う季節となりました。日が落ちるのが早くなり、冬が駆け足で近づいてくるようです。9月の議会定例会で平成29年度決算を承認しましたが、既に来年度予算の編成作業が始まっています。議会としても、議会の透明性と公平性を確保し、住民の皆様方が期待と信頼の持てる議会活動を進めてまいります。

